

平成27年3月10日（火）

八ヶ岳南麓里山再生・農業支援友の会

会員の皆様へ

《3月度農場便り》

「農の始まり」

ひな祭りも過ぎ天候の周期が短くなりました。そろそろ田んぼの荒起こし、畑にはレタスの畝づくりと耕運をする時期になりました。固く凍てついていた土も柔らかくなりました。自然栽培では土壌の微生物達に活発に活動してもらうために乾燥した時に耕すのですがこう目まぐるしい気候の変化は予定を立てるのは難しいのです。

・名残雪（3/4）の翌日は雪も消え、白州からの八ヶ岳（3/5）が美しい。



ハウス内で育苗中のレタス類、キャベツ類の苗も順調に育っています。研修生の國武君は温度管理と苗観察で更に農が身近になったことでしょう。温度の微妙な変化で苗が徒長してしまいます。気が抜けません。

・カリフラワーの苗（3/5）

・徒長気味のステミトマト（3/5）



この12日は最後の実践スクールで味噌づくりです。2年続きで大豆は若芽が鹿害に合い全滅でした。今年は韮崎の新規借用の7000㎡の畑で大豆を栽培予定です。広い一枚の畑です。眺望も抜群日程が合えば大豆の種播きに来て下さい。また21日からは新たな農業実践スクールが始まります。3名と少人数ですがシイタケの植菌から始まります。2年目となる企業の農業体験スクールも継続となるので忙しくなります。研修生の田畑の確保も進めながら現在の2倍の面積に拡大予定です。いよいよ忙しくなります。

メール yamaki.yoshio@peach.plala.or.jp

携帯080-3080-3017